

第七十三回帝國議會 臨時通貨法案外一件委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和十三年三月十四日(月曜日)午前十時五十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 駒井 重次君

理事東條 貞君 理事大本貞太郎君

渡邊玉三郎君 津倉 龜作君

藤井 浩然君 鹽川 正藏君

會和 義弑君 中野 寅吉君

高岡 大輔君

出席政府委員左ノ如シ

大藏參與官 中村三之丞君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 尾關 將玄君

司法政務次官 久山 知之君

農林省山林局長 村山富士太郎君

三月十二日擔保附社債信託法中改正法律案

(政府提出、貴族院送付)、昭和十一年度第一

豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、昭和十

一年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾

ヲ求ムル件)、昭和十一年度特別會計豫備費

支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、昭和十一年度

滿洲事件第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ム

ル件)、昭和十二年度第二豫備金支出ノ件

(承諾ヲ求ムル件)、昭和十二年度特別會計第

二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、昭和

十二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過

及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、競争入

札ノ取締等ニ關スル法律案(福用關次郎君提

出)及舊獨逸膠州租借地還付ニ關スル條約

實施ニ伴フ損失ノ補償ニ關スル法律案(綾

部健太郎君外一名提出)ノ審査ヲ本委員ニ

付託セラレタリ

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

擔保附社債信託法中改正法律案(政府提

出、貴族院送付)

昭和十一年度第一豫備

金支出ノ件

昭和十一年度特別會計

第一豫備金支出ノ件

昭和十一年度特別會計

昭和十一年度滿洲事件

第一豫備金支出ノ件 (承諾ヲ求ムル件)

昭和十二年度第二豫備

金支出ノ件

昭和十二年度特別會計

第二豫備金支出ノ件

昭和十二年度特別會計

豫備金外ニ於テ豫算超

過及豫算外支出ノ件

○駒井委員長 開會致シマス——此際御諮

リ致シマスガ、本日ハ關稅定率法中改正法

律案ニ對スル質疑ヲ致ス管デアリマシタ

ガ、他ノ二三ノ法律案ガ本委員會ニ併託ニ

ナリマシタカラ、之ニ關スル政府ノ説明ヲ

付託議案
臨時通貨法案(政府提出)
關稅定率法中改正法律案(政府提出)
擔保附社債信託法中改正法律案(政府提出)
昭和十一年度第一豫備金支出ノ件
昭和十一年度特別會計第一豫備金支出ノ件
昭和十一年度特別會計豫備費支出ノ件
昭和十一年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
昭和十二年度第二豫備金支出ノ件
昭和十二年度特別會計第二豫備金支出ノ件
昭和十二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
競争入札ノ取締等ニ關スル法律案(福用關次郎君提出)
舊獨逸膠州租借地還付ニ關スル條約實施ニ伴フ損失ノ補償ニ關スル法律案(綾部健太郎君外一名提出)

先ニシテ戴カウト思ヒマス、御異議ガナケレバサウ云フ風ニ進行致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○駒井委員長 ソレデハ久山政府委員

○久山政府委員 擔保附社債信託法中改正法律案ニ付キ御説明致シマス

社債金融ノ圓滑ヲ圖リ、時局ニ緊要ナル事業ニ對シ資金調達ノ途ヲ確保致シマスコトハ、我國現下經濟界ノ情勢ニ顧ミ、眞ニ必要ナルコトト存ズルノデアリマス、而シテ社債ニハ物上擔保ヲ附スベシトハ、近時強ク要望セラル、所デアリマスガ、株式等ヲ主要ナル資産トスル會社等ニ於キマシテハ、現行擔保附社債信託法ガ、株式ヲ擔保トスル社債ノ發行ヲ認メテ居リマセヌ爲ニ、資金調達上尠カラズ不便ヲ感ジテ居ルノデアリマス、仍テ茲ニ本法ニ改正ヲ加ヘ、社債ニ附スルコトヲ得ベキ物上擔保ノ種類ヲ追加シ、株式ヲ社債ノ擔保ト爲スコトヲ認メントスルノデアリマス、尤モ株式ノ種類ハ極メテ多ク、是等ヲ總テ自由ニ社債ノ擔保トシテ認メマスコトハ適當デアリマセヌノデ、株式擔保社債ノ發行ニ當リマシテハ、主務官廳ノ認可ヲ受ケシムルコトト致シマシタ、宜シク御審議アランコトヲ望ミマス

○入間野政府委員 只今司法省ノ政府委員

カラ、擔保附社債信託法提案ノ理由ニ關シマシテ御説明ガアリマシタガ、尙ホ大藏省ト致シマシテ、其經濟的理由ニ付キマシテ、簡單ニ御説明申上ゲタイト存ジマス

我國現下ノ經濟情勢カラ見マシテ、生産力擴充ヲ必要トスルモノガ、尙ホ相當多イノデアリマス、而シテ是ガ爲ニ要スル所ノ事業資金ハ、原則トシテ長期資金タルコトヲ必要トシ、此長期資金ハ現在多クノ場合ハ、社債ノ發行ニ依ッテ調達セラル、實情ニアルノデアリマス、隨ヒマシテ起債界ノ振興、社債金融ノ圓滑ガ、重要産業ノ生産力擴充ニ影響スル所極メテ大ナルモノガアルノデアリマス、而シテ社債ハ無擔保ノモノヨリモ、擔保附ノモノガ望マシイ次第デアリマシテ、多數社債權者保護ノ立場ヨリ致シマシテモ、亦社債發行上ノ色々ノ點カラ考ヘマシテモ、一般ニ要望セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ現在尙ホ無擔保社債ガ多ク出テ居リマシテ、現ニ昨昭和十二年末現在ノ會社債三十五億六千餘萬圓中、無擔保社債ガ十九億餘萬圓ニ達シテ居リマシテ、實ニ五割三分ノ多キニ及ンデ居ルノデアリマス、勿論數年前ニ比ベマスルト擔保附社債ガ、漸次増加致シテ參リマシタケレドモ、尙ホ斯ノ如キ現在ノ状態デアリマスル

カラ、起債界ノ堅實ナル發達ヲ爲サシムル上カラ見マシテ、一考ヲ要スベキコトデアルト存ジマス

現在擔保附社債信託法ニ於テ認メテ居リマス物上擔保ノ種類ガ十一ゴザイマス、然ラバ擔保附社債信託法第四條ニ規定シテ居リマス所ノ動産質、證書アル債權質、不動産抵當、船舶抵當、鐵道抵當、工場抵當、鑛業抵當、軌道抵當、運河抵當、漁業財團抵當、自動車交通事業抵當、此十一以外ニ更ニ加フベキ何モノモナイカト申シマスルノニ、決シテサウデハナイノデアリマシテ、今回差加ヘマシタ株式質ノ如キモノハ、物上擔保トシテ最適當ナルモノト存ズルノデアリマス

思フニ近時會社企業ガ發達シテ參リマスルニツレ、其業績ガ舉リ、基礎ノ鞏固ナル會社モ多クナリマシテ、銀行ナドニ於キマシテモ確實ナル株式デサヘアリマスレバ、其價格ノ明瞭ナル點ニ於テ、又其換價ノ容易ナル點ニ於テ、之ヲ擔保トシテ貸出ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、其額ガ非常ニ多ク、昭和十一年末現在ニ於キマシテ、普通銀行ノ貸出總額七十一億餘萬圓中、株式擔保ノ貸出ガ十七億餘萬圓ニ達シ、其割合ハ約二割四分ニ及ンデ居ルノデゴザイマス、更ニ他方我國ニ於ケル企業組織ノ上カラ見マシテ、所謂持株會社ナルモノガ擡頭シ、是等ノ會社ハ多數ノ子會社ヲ擁シ、之ヲ統制シテ、其經營ヲ行ツテ居ルノデアリマスガ、其主タル資産ハ子會社ノ株式デアリマス、又電力會社、鐵道會社、鑛業會社ナドニ於キマシテモ、關係會社ノ株式ヲ所有シテ居リマスモノガ多數アルノデアリマス、是等ノ會社ガ其有スル株式ヲ擔保トシテ、社債ヲ發行スルコトガ出來マシタナラバ、其設備ノ擴張ニ、延イテ生産力ノ擴充ニ資スル所、蓋シ大ナルモノアルベキヲ信ジテ疑ハナイノデアリマス、ソコデ今回擔保附社債信託法ヲ改正シ、社債ニ附スルコトヲ得ベキ物上擔保ノ種類ヲ擴張シテ株式質ヲ加ヘ、一面擔保附社債ノ發行ヲ獎勵致シマシテ、多數社債權者ノ利益ヲ擁護致シマスルト共ニ、他面擔保附社債ノ發行ヲ容易ニ致シマシテ、社債金融ノ圓滑ヲ圖リ、以テ生産力擴充ニ努メタイト考ヘマシテ、此改正法律案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、唯御承知ノ通り株式ノ種類ハ極メテ多ク、其價格モ比較的變動ガ多イノデ、之ヲ以テ長期ニ互ル社債ノ物上擔保ト致シマスコトニ付テハ、十分注意スルコトガ必要デアルト考ヘマシテ、社債ノ擔保トシテ株式質ヲ

設定致シマス場合ニハ、當業者間ニ於テ自由ニ爲シ得ルコトヲ避ケ、主務官廳ノ認可ヲ受ケルコトヲ必要ト致シタノデアリマス、而シテ是ガ認可ヲ致シマスルニ付テハ、十分檢討ノ上、其株式ノ種類ト、其擔保價值トカヲ能ク調べマシテ、其認否ヲ決シ、以テ社債權者ノ保護、社債金融ノ圓滑等ニ、萬遺憾ナキヲ期シタイト存ジテ居ルノデアリマス

○中村政府委員 今回御承諾ヲ求メテ居リマス所ノ、昭和十一年度第一豫備金支出外六件ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ大體ノ御説明ヲ申上ゲテアツタノデアリマスルガ、茲ニ委員會ヲ開カレルニ當リマシテ、重ネテ全體ニ互ル一應ノ御説明ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、昭和十一年度ニ於テハ一般會計第一豫備金ヨリ八百萬圓、同滿洲事件第一豫備金ヨリ二百萬圓、特別會計第一豫備金ヨリ四百三十二萬餘圓、同豫備費ヨリ千五百萬圓、合計二千九百三十二萬餘圓ヲ支出致シマシタ、次ニ昭和十二年度ニ於テハ、一般會計第二豫備金ヨリ千八百八十五萬餘圓、特別會計第二豫備金ヨリ二百九十六萬餘圓、合計二千八百一十一萬餘圓ヲ支出致シマシタ

右ハ何レモ豫備金、或ハ豫備費ノ豫算ノ

範圍内ノ支出デアリマス、尙ホ昭和十二年度特別會計豫備金外ニ於テ、其ノ歳入金ヲ以テ豫算超過ノ支出ヲ致シタモノガ、千二百三十六萬餘圓、國庫剩餘金ヲ以テ豫算外ノ支出ヲ致シタモノガ、三十六萬餘圓アリマス、各事項ニ付キマシテハ各省所管ニ互リマシテ、各提出致シテアリマス計算書並調査ニ説明致シテアリマスガ、尙ホ御質問ニ依リマシテ申上ゲルコトニ致シマス、一應ノ御説明ハ之ニ止メテ置キタイト存ジマス

○大本委員 一寸擔保附社債ニ付テ……

○駒井委員長 大本サンニ一寸御注意致シマスガ、先ニ關稅定率法中改正法律案ノ質疑ヲ致シタイト思ッテ居リマス

○大本委員 私ハ今日初メテ委員會ニ出テ來タノデ、政府委員ノ御説明ヲ聽イテ居ラヌノデスガ、是ヤハリ人絹ヤ、「ステープル・ファイバー」ノ關係ノ、「バルプ」ノ原料ニ關スルコトニナツテ居ルノデゴザイマスカ

○尾關政府委員 只今ノ御質問ハ、紅松ノ輸入稅ヲ無稅ニスルト云フコトニ付テノ御質問カト存ジマス、若シサウデゴザイマスルナラバ、紅松ヲ今回無稅ニスルト申シマスルコトハ、「バルプ」ノ原料ニスルガ爲デハゴザイマセヌ、即チ紅松ハ滿洲ニ主トシ

テ産シ、其大部分ハ朝鮮ニ輸入セラレ又一部ハ内地ヘモ輸入セラレテ居ルノデゴザイマス、而シテ之ハ主トシテ家具又ハ建築材料等ニ使用セラレテ居ルノデゴザイマスガ、何分ニモ滿洲ト朝鮮ト云ツクヤウナ特種關係ニ鑑ミマシテ、今回之ヲ無稅ニスルヲ適當ト認メ、今期議會ニ提案致シタ次第デゴザイマスカ

○大本委員 是デ内地ノ材木トノ關係ハドウ云フ風ニナル譯デゴザイマスカ

○尾關政府委員 滿洲ノ紅松ガ入ッテ來マシテモ、別ニ内地ノ山林行政ニハ著シイ影響ハナイト考ヘテ居リマス

○大本委員 ドウ云フ必要ガアツテ、特ニ無稅ニスル理由ガアルノデスカ

○尾關政府委員 此松屬ノ中デ主トシテハ紅松デゴザイマスガ、是ハ前申述ベマシタ通り、滿洲國ニ生産セラレ、日本ニ輸入セラル、紅松ハ、主トシテ滿洲國カラデゴザイマス、隨テ第七十一議會デゴザイマシタカ關稅改正ノ際ニ、衆議院ニ於カレマシテモ昭和十三年度ヨリ之ヲ無稅トスベシト云フ希望決議ヲ附サレタノデゴザイマシテ、本案モ亦日滿一體ヲ通ズル一ツノ經濟政策ノ現レデゴザイマス

○大本委員 ソレデ宜シウゴザイマス

○駒井委員長 關稅定率法中改正法律案ニ關スル質疑ノアル方ガゴザイマスカ——本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス
午前十一時十六分散會

昭和十三年三月十四日印刷

昭和十三年三月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局